



家族会員の会費に関する改正案

家族会費制度を設けることにより、ライオンズクラブ国際協会は今や、世界的な家族ぐるみのボランティア活動をもたらす第一人者となるチャンスを得ます。「家族が親しみやすいクラブ」の導入に加えて、この会費制度が採用されれば、協会は、世界中の地域社会奉仕に的を絞ることはもちろんのこと、若い家族のニーズにも対応する、活力に満ち、未来に目を向けた組織として位置付けることができるのです。

変わりつづける家庭生活のあり方、そして家庭における経済的な現実のために、多くの家族にとって伝統的な市民組織や奉仕団体に時間を捧げることが難しくなっています。しかしこの度、家族会員プログラム及び家族会費制度を採用することによって、協会はこういった動向に対処することができるのです。それは、若い世代の勧誘に関心のあるクラブに役立つだけでなく、ライオンズが今もなお地域社会のニーズを満たす最もダイナミックな奉仕団体であることを世間に広く知らせることにもなるのです。

より多くの家族に奉仕に参加する機会を差し延べるのは今です。共にボランティア活動をすることにより、家族は貴重な時間を一緒に過ごすことができるほか、奉仕という価値観を親から子へと次の世代に伝えることができます。ボランティア活動に積極的な環境に育った子どもは、大人になってもボランティア活動を続ける場合が多く見られます。

恵まれぬ人々への奉仕という伝統をこの先何十年にもわたって続けていけるよう協会の力を強化するために、この改正案は極めて重要です。



よくある質問

家族会費制度には、どんなメリットがありますか？

家族会費制度を設けることは、特にクラブ会員が高齢化している地域の会員増強を支援することにつながります。家族会員プログラムは、ライオンズの会員となつてしかるべき年齢層を引き付けることとなります。そして、クラブ活動に青少年が加わるよう更なる努力をすれば、私たちは、ライオンズの未来の発展と活力を確かなものとする上で役立つ、ボランティア活動の伝統とライオンズとの生涯の提携を築いていくことにもなるのです。その上、家族を勧誘することは、既存のクラブに新しい活力と熱意を注ぎこむだけでなく、より多くの新クラブ結成も可能にします。

家族会費制度適用の対象となるのは誰ですか？

家族会費制度が適用される「家族」としてみなされるのは、血縁、婚姻、その他の法的手段によって縁戚関係にあり、同じクラブに所属しているか入会しようとしている、同世帯の者全員であり、親、子、配偶者、叔父/叔母、いとこ、祖父母、配偶者の肉親や親戚など、一般的な家族関係が含まれます。

家族会費制度はどのような仕組みになっていますか？

現会員又は新規入会者のいずれであろうと家族一人目の会員が規定の年間会費(US \$ 39)と、入会費(該当の場合)を支払わなければなりません。この制度を利用できる追加の家族員は最高4人までとして、会員となる二人目からの有資格の家族員(同世帯の成人)は、規定の年間会費の半額(US \$ 19.50)を支払う必要がありますが、協会への入会費は免除されます。新しく結成されるクラブに入会する場合には、最初の家族員が規定のチャーター費(US \$ 30)及び規定の年間会費を支払わなければなりません。二人目からの有資格の家族員は、年間会費の半額(US \$ 19.50)を支払わなければなりません、チャーター費は免除されます。

家族会費制度を、別々のクラブに所属する家族員に適用しないのは何故ですか？

会費の特別料金を設ける主な理由の第一は、同じクラブに所属する家族会員に対して協会が提供するサービスの費用を抑えることができるからです。提案されている制度の下では、1世帯に対してライオン誌が一冊のみ送られ、新会員キットについては家族で一つを共用することになり、アワードその他に関する郵便物も統合されて送られることとなります。家族員が別々のクラブに所属する場合には、そのような面での経費の節約を期待することはできません。次に、裏面に挙げられた新たな家庭のあり方に対応する意味で、ボランティア活動と一緒にいることを希望する家族が益々増えているからです。

有資格の既存会員には、家族会費が適用されますか？

適用されます。同一クラブに現在所属しており、かつ他の条件も満たしている家族会員は誰でも、家族会費適用の対象となります。月例会員報告書提出時あるいは更新時に、クラブ幹事は家族会員報告用書式(オンライン提出可能)に必要事項を記入して提出する必要があります。

どのクラブも家族員を勧誘しなければいけませんか？

もちろん、その義務はありません。ライオンズクラブへは、招請によってのみ入会可能です。クラブはこれまで通り、クラブの会員構成について決断を下すことができます。

家族員が既にボランティア活動に参加している場合、奉仕活動を持続するためには会員とならなければいけませんか？

その必要はありません。家族員はこれまで通り非ライオンとしてボランティア活動に参加することができます。この新しい家族プログラムは、正会員としての誇りと特権を享受したい家族員に選択肢を提供するものです。

家族のために何か特別なプログラムが設けられるのですか？

家族会員プログラムが展開するにつれ、他の地域社会や国のライオンズとの家族旅行兼ボランティア交換というような、ライオンズクラブに家族を引き付けるプログラムが企画されることとなります。また、「家族が親しみやすいライオンズクラブの手引き」に、特に青少年を対象とした追加のボランティア・プログラムを加えて、内容を更に充実させることも計画されています。

会員となる家族員には、どのような投票権が与えられるのですか？

会費を支払う家族会員(成人であること)は、クラブに関する事柄に対してそれぞれ1票の投票権を有することとなります。また、地区大会及び国際大会で投票する代議員数を算出する際の個々のクラブ会員として計算されます。

ライオンとなれる年齢が変更されるのですか？

変更されません。協会の会則によると、会員となるためには成年に達していなければなりません。従って、未成年は会員となる資格がないため、会員として名簿に加えることはできません。このような場合には、希望があれば未成年の家族員のために、クラブはレオクラブをスポンサーすると良いでしょう。

家族会費制度はいつ施行されるのですか？

国際大会で可決されれば、この制度は2007年1月1日より施行可能となります。この発効日までの間に会員報告書式の内容や行政手続きが調整されることとなります。また半期分国際会費の請求日と一致していることから理想的です。

家族会員に関する調査結果の注目すべき点

2006年1月と2月にわたり、合計9,339人の世界各地のライオンに対し、各々の所属ライオンズクラブにおける家族の参加状況に関するアンケート調査が実施されました。その結果、合計2,047人のライオンから返答がありました。

- 返答者の88.4%が、家族を含めることは長期的な会員増強を図る上で重要であると回答。
- 80.3%が家族の者が定期的にクラブの募金活動に関与していると報告し、71.6%が奉仕活動参加を報告。
- 70%が、家族会員に対する会費割引は会員増強を促す良策であり、地域社会にライオンズの活動を広げていく上で役立つ、考えている。
- 96.2%が、自分の所属クラブにとっては適切でないとしても、家族員の勧誘を他のクラブに奨励すると回答。
- 調査に応じたクラブの76.5%が、平均年齢50歳以上と返答。これは、次世代の会員勧誘が協会にとって極めて重要であることを示している。

「家族が親しみやすいクラブ・プログラム」を既に取り入れているクラブは、会員数の安定と会員の満足度上昇を報告しています。

調査の結果、18歳～49歳の年齢層の会員を大幅に増やすためには、入念な計画を立て、一致団結して、若い会員とその家族を本協会に引き付ける努力が必要、との結論が出ました。

更なる詳細は、ボストンにおける2006年大会期間中の2006年7月3日（月）3:00 pm～4:30 pmに、ボストン・コンベンション&エキシビジョンセンターで開かれる「家族が親しみやすいクラブの発展への情熱」セミナーで得ることができます。また、国際本部